議案第 5 1 号

辺地に係る公共的施設の総合整備計画変更の件

辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律（昭和 3 7 年法律第 8 8 号）第 3 条第 8 項において準用する同条第 1 項の規定により、高島・近牛・信取辺地に係る公共的施設の総合整備計画を別紙のとおり変更する。

総 合 整 備 計 画 書

北海道 中川郡池田町 高島・近牛・信取 辺地
(辺地の人口 274人、面積 47.2k㎡)

1. 辺地の概況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称	中川郡池田町 字高島・ 字近牛・ 字信取
(2) 地域の中心の位置	中川郡池田町字高島7番地20
(3) 辺地度数	114点

2. 公共的施設の整備を必要とする事情

・道路

～ 高島・近牛地区における道路施設は、道道池田停車場高島線が区域内を縦断し、そこから分岐して多くの町道が存在していますが、幅員が狭く未舗装の道路もあり、それらの解消が必要です。また、2級河川の高島十五線川や、その他普通河川を横断し、住宅や農地に接続している町道が多く、生活面及び産業活動の面からも辺地内の連絡道路として重要な役割を果たしています。

信取地区においても、主要道路である国道242号線から分岐した町道が2級河川のパンケ川・十日川、その他普通河川を横断しており、同様に辺地内の重要な連絡道路として位置付けられています。

以上から、本辺地内の道路整備及び池田町橋梁長寿命化修繕計画（令和2年度策定）に基づく橋梁の修繕を実施し、道路及び橋梁等の計画的かつ効率的な維持管理を図るものです。

・農業（畜産業を含む。）、林業又は漁業の経営の近代化のための施設

～ 高齢化や人口減少の進行、TPP 協定など経済のグローバル化の進展等により、地域農業の生産力・競争力の低下が懸念されており、北海道の強み、優位性を活かした農業の成長産業化を推し進めるべく、更なる生産コスト縮減による競争力強化を図らなければならないことから、農業者が必要な生産基盤整備に積極的に取り組めるよう、農家負担について特例的な軽減措置を講ずるものです。

・観光又はレクリエーションに関する施設

～ 池田町郷土資料館改修事業

池田町郷土資料館では、開拓期から昭和にかけての生活用具や農機具、ふるさと銀河線や旧国鉄の鉄道資料、町内の遺跡から発掘された土器や石器等を展示しており、本町のこれまでの歩みや暮らしの歴史などの発信及び後世へ伝承していくための施設として、重要な役割を担っています。

以上から、当該施設を引き続き使用するために必要となる改修工事等を実施し、施設の維持管理を図るものです。

3. 公共的施設の整備計画

令和4年度から令和8年度までの5年間

(単位：千円)

施設名	区分 事業主体名	事業費	財源内訳		一般財源のうち ち辺地対策事業 債の予定額
			特定財源	一般財源	
道 路 (池田町橋梁長寿命化事業ほか1 事業)	池田町	124,300	78,617	45,683	45,600
農業(畜産業を含む。)、林 業又は漁業の経営の近代 化のための施設 (次世代農業促進生産基盤整備特 別対策事業)	池田町	40,992	37,405	3,587	3,500
観光又はレクリエーショ ンに関する施設 (池田町郷土資料館改修事業)	池田町	(2,500)	(0)	(2,500)	(2,500)
合 計		(167,792) 165,292	116,022	(51,770) 49,270	(51,600) 49,100

() 内は変更後の額